

和解の礼拝堂 Kapelle der Versöhnung

ベルリン中央部 Bernauer Straße



背景

1894 年、ここにはネオ・ゴシック様式の教会が建てられました。しかし戦後の 1961 年にベルリンの壁が建設され、この場所は旧東ベルリンと旧西ベルリンの国境の間（“死んだ土地”と呼ばれています）に位置してしまっただけでなく、誰も近づくことが出来なくなりました。そして、監視の邪魔になるという理由もあり、1985 年旧東ドイツの政府（DDR）によって爆破されました。かつてのベルリンの壁沿いであるベルナウア一通りでは特に、壁を越えようとして多くの命が犠牲になりました。1989 年の壁崩壊とその後のドイツ統一により状況は一変し、戦争の悲劇と犠牲になった多くの命を忘れないために、市民や学生、国際ボランティアたちの手でこの和解の礼拝堂が 2000 年 11 月に新しく建てられました。

建物とその周辺

礼拝堂内の壁を近くから見てみると、様々な形の石みたいなものがたくさんあるのがわかります。これらは全て昔の教会の欠片です。なので、よく見てみると、ガラスの破片やタイルなんかも混ざっています。この建物は版築という用法で造られました。板枠の中に土を入れて突き固め、層を重ねたものです。壁にたくさんの層がみられるのはそのためです。（ちなみに、この技法は法隆寺の塀や万里の長城にも使われています。）土はこの場所の土を使っています。

講壇（聖書がある台）はエルサレムの方向を、祭壇（大きな十字架があるところ）は昔の教会と同じ方向を向いています。

外に出てみると、敷地内の半分以上が畑になっているのがわかります。“最後の晚餐”のパンに由来して、ここでは黒パンの原料となるライ麦が育てられています。

設備に関して

三つの鐘:外にある大きな木の箱のような建物の中には三つの鐘があります。これらは、昔の教会からのもので、今でも使われています。

(150cm-1300kg/ 130cm-850kg/ 110cm-500kg)

香壇: このロウソクを供える台も昔の教会のものを使っています。

(香壇の下にあるプレート 310×120cm, 約 2000kg)

パイプオルガン: 祭壇の向かい側上部にあります。Walker 社 1965 年製。(2つの手鍵盤と1つの足鍵盤)

内壁: 厚さ 60cm, 高さ 7m, 長さ 43m, 直径 10~14m

祭壇のくぼみ: 高さ 約 11m, 地下の深さ 約 4m

内部総重量: 390t

外板: マツ科針葉樹の材木

建設費: 971,454 ユーロ

開館時間と礼拝

一般開館: 火曜~日曜 10:00~17:00

日曜のミサ: 10:00~ 犠牲者への祈祷: 火曜~金曜 12:00~

夕方の礼拝: 金曜 18:00~ 昼の礼拝: 土曜 12:00~

(宗派: プロテスタント)

アクセス

Kapelle der Versöhnung, Bernauer Str.4. 10115 Berlin

電話 030 463 6034 FAX 030 464 4755

www.versoechnung-berlin.org Email kirche.versoechnung@berlin.de

Sバーン (S 1, S 2) Nordbahnhof 下車 徒歩2分

Uバーン (U 8) Bernauer Straße 下車 徒歩5分

トラム (M 1 0) Gedenkstätte Berliner Mauer 下車

さいごに..

ドイツには、戦争に関する記念館や博物館がたくさんあります。歴史を知ることには、同じ間違いを繰り返さず、世界をより良い方向へ導いていくための手がかかりなのではないでしょうか。本日、あなたがこの礼拝堂へいらしてくれたことをとても嬉しく思います。堂内には、昔の教会の写真や資料があるので手にとってみてください。また、ベルナウアー通り向かいにある資料館ではベルリンの壁に関する多くの資料や映像を無料でみることができるので、ぜひ足を運んでみてください。

では、よいご旅行になることをお祈りしております！